

特集 2

次世代育成の取り組み

森の探検隊

子ども時代でしか身につけられない自然への気づきと感性を育む活動を行っています。

グループ会社のスポーツメディア(株)が2015年からはじめた「次世代育成」の活動『森の探検隊』は、今年度も幼稚園年長8名、小学校2年生8名のこどもたちが、広島県北部に位置する安芸太田町井仁地区の「井仁(いに)の棚田」周辺で「3つの季節」にわたり収穫体験や自然散策を行い、見たり感じたりしたことを創作で表現し発表しました。『森の探検隊』は、子ども時代にしか身につけられない自然への“気づき”と感性を育むことを狙いとした野外活動です。子どもたちは季節の移ろいを全身で感じ、学年差があることでの異なる感性を發揮し合いながら互いに学びあいました。

■ 2017年度活動概要

実施場所／広島県山県郡安芸太田町井仁
「棚田交流館」と周辺の森

実施日程／・夏 8月20日(日) 夏を探そう
・秋 9月24日(日) 秋を探そう
・冬 11月26日(日) 冬を探そう

参加者／16名(幼稚園年長8名 小学2年生8名)

協力／井仁棚田交流館 廿日市市6幼稚園

活動実施／スポーツメディア(株) 東雲スイミングクラブ



◆夏 8月20日(日) 夏を探そう



◆秋 9月24日(日) 秋を探そう



◆冬 11月26日(日) 冬を探そう

TOPIC

文科省「青少年の体験活動推進企業表彰」 「審査委員会特別賞」受賞!

「森の探検隊」は、文部科学省主催の2017年度「青少年の体験活動推進企業表彰」で「審査委員会特別賞」(中小企業部門)を受賞しました。

学校や自治体、企業による自然体験活動は数多くありますが、中坪准教授(広島大学大学院教育学研究科)の協力のもと、スポーツメディア(株)が独自で工夫したことのひとつに「2学年差の設定」があります。もっとも発達が顕著で好奇心旺盛な時期の幼稚園年長と小学2年生の子ども達が、ときに感性をぶつけ合いながらも、次第に認め合い、互いに学び合えるようになっていくことを目的としました。この活動は日本道路CSR報告書や業界紙だけでなく、「日本子ども社会学会第24回大会」で研究発表が行われ、アカデミックな観点からも注目を集めています。

弊社のこれまでの取り組みが実を結んだ結果と喜んでおります。これからも企業と地域が協働する事業を推進し、子どもたちを取り巻く環境に対して貢献していきたいと思っております。



左から 支配人 福島 真吾、社長 三ツ橋 康(当時)
マネージャー 江田 理英

※当活動は社内のCSR表彰(2017年度)に選定されました。